# 国交正常化合意の衝撃イスラエル・UAE

-変わるのか中東の勢力地図

米大統領選挙は中東情勢をどう動かすか。果たして、中東は新たな線引きで二分されるのか。親アラブ勢力は反発を強めている。サウジアラビアが後を追うとみられるが、突然発表された国交正常化合意。

の幅広い関係構築を期待していた経緯から、UAE側の承連邦(UAE)の国交正常化合意(以下、「合意」)を発表 ・ イスラエルによるヨルダン川西岸(以下、「西岸」)の併合 計画延期を条件に、国交を開設すると合意したのである。 計画延期を条件に、国交を開設すると合意したのである。 計画延期を条件に、国交を開設すると合意したのである。 計画近期を条件に、国交を開設すると合意したのである。 である。 がは、イスラエル高官のUAE訪問を実現させてみせた。 「合意」成立は、かねてからイスラエル側がアラブ諸国と の幅広い関係構築を期待していた経緯から、UAE側の承

#### 中村党

(共著)、『イスラエル・パレスチナ』(監修)。 を越える危機・外交と制度による対応』学、ジュネーブ国際・開発大学院客員学、ジュネーブ国際・開発大学院客員学、ジュネーブ国際・開発大学院客員学、東北大学大学院国際文化研究科イ卒、東北大学大学院国際文化研究科イ本、東北大学大学院国際文化研究科イタ、東北大学大学院国際文化研究科イターでは、

した、と説明している。ラエルと二国間関係を構築するための行程表づくりに合意ラエルと二国間関係を構築するための行程表づくりに合意スラエルによる「西岸」の併合計画を「中止」させ、イスハンマド・ビン・ザーイド皇太子は、その狙いとして、イ諾が鍵となっていた。この「合意」のUAE側推進役のム語が鍵となっていた。

きた。もしもトランプ政権が再選を果たせば、イスラエル政権は、就任以来、前例のない親イスラエル路線を進めて条件付けられてはいないと国内で説明している。トランプ画は「延期」したのみで、パレスチナとの和平交渉再開はだが、ネタニヤフ・イスラエル首相は、「西岸」併合計

く容認してしまうだろう。が時期を見計らって「西岸」を併合したとしても、おそら

「合意」に対しては、その公表直後から、パレスチナ自治 政府とハマースの双方から、「パレスチナを見捨てた」と 政府とハマースの双方から、「パレスチナを見捨てた」と 盟は、「和平と土地の交換」の原則の下で、イスラエルが 盟は、「和平と土地の交換」の原則の下で、イスラエルが 盟は、「和平と土地の交換」の原則の下で、イスラエルが 提示した経緯がある。

だが、今回のUAEによる単独行動は、「西岸」併合のだが、今回のUAEによる単独行動は、「西岸」併合のだが、今回のUAEによる単独行動は、「西岸」併合のだが、今回のUAEによる単独行動は、「西岸」併合のがにされている。

る。

高額の対イスラエル軍事援助を実現させた仕掛け人でもあ

### 親イスラエルのバイデンの動きは

民主党の大統領候補バイデン氏のイスラエル政策は、「二

対する圧力政策をことごとく骨抜きにして、米国史上、最対する圧力政策をことごとく骨抜きにして、米国史上、最高に対して、パレスチナ自治政府との和平交渉を再開するように圧力を行使した経緯があった。そのバイデン氏がもしも大統領に就任したら、対イスラエル強硬派となるのだろうか。すでに今年八月、バイデン氏は、イスラエルによる「西岸」の併合に反対する、と発言した経緯がある。だが、バイデン氏は、もしもイスラエルが「西岸」を併合してしまえば、それを容認するだろうと観測されている。なぜなら、バイデン氏は、イスラエル政治やイスラエルによる「西岸」の併合に反対する、と発言した経緯がある。だが、バイデン氏は、イスラエル政治やイスラエルによびなら、バイデン氏は、イスラエル政治やイスラエルにはなどなら、バイデン氏は、イスラエル政治やイスラエルにはなどなら、バイデン氏は、イスラエル政治やイスラエルにはない。オバマ政権内では、イスラエルに国家解決案」に沿った和平交渉を推進させるだろうか。バース・フェールに対して、米国史上、最初で対して、米国史上、最初では、大学の大学があった。

案は、民主党内の親イスラエル派によって潰された。領から五三年目にして、初めて民主党党綱領にイスラエル党「革新派」(親アラブ派)は、イスラエルの「西岸」占党「革新派」(親アラブ派)は、イスラエルの「西岸」占による「占領」を明記しようと画策した。だが、その作成過程で民主主党党綱領2020」が発表された。その作成過程で民主主党党綱領2020」が発表された。

民主党の一般党員の間では、米国のイスラエルへの圧力

が併合されたりしても、イスラエルに対して圧力を加えるが併合されたりしても、イスラエルに対して圧力を加えるでいる。当選すれば、バイデン氏は、対パレスチナ援助を再開するだろう。だが、バイデン氏の外交政策スタッフは、共国からのイスラエルへの援助や軍事支援を無条件に継続来国からのイスラエルへの援助や軍事支援を無条件に継続の併合されたりしても、イスラエルに対して圧力を加えるを強化して「二国家解決案」を目指す世論が多数派になっを強化して「二国家解決案」を目指す世論が多数派になっ

交渉が再開する見込みもまた、著しく低下している。容認してしまいそうである。イスラエル・パレスチナ和平米国は、いずれ、イスラエルによる「西岸」併合の実施をつまり、トランプ氏とバイデン氏のどちらが当選しても、

重なり始めた。

#### 形成される反トルコ陣営

係正常化の呼び水となるだろうか。つまり、アラブとイスである。「合意」は、他のアラブ諸国のイスラエルとの関ア湾岸諸国協力評議会(GCC)の中でも対イラン強硬派である。UAEとサウジアラビアとバーレーンは、アラビルと国交正常化に踏み出すための前哨である、という見方わる。UAEの行動は、サウジアラビアがいずれイスラエ「合意」に関わるもう一つの憶測は、サウジアラビアに関

化するために、解消されてしまうのか。
ラエルの数十年にわたる対立関係は、対イラン包囲網を強

反イスラエル側にとどまるだろう。シリアのアサド政権については、イランの影響力が強く、一直線に進むという予測は立てにくい。まず、イラクと

陣営形成が促されている。それは、反イラン網と緩やかに間に中東各地で軍事行動を拡張しており、それに対抗するをめぐり、二分されてきた。だが、トルコが過去約二年の二○一一年以降、中東の政治地図は、イランとの距離感

化されるようになった。
・ウランの戦やかな協力関係が可視ら、カタール、トルコ、イランの緩やかな協力関係が可視の際に、カタール防衛のために部隊を派兵した。この時かの際に、カタール防衛のために部隊を派兵した。この時から、カタール、トルコは、アラブ四ヵ国によるカタール断交ー七年六月、トルコは、アラブ四ヵ国によるカタール断交ーとリア内戦を終結させるためのトルコとロシアのアスタシリア内戦を終結させるためのトルコとロシアのアスタ

兵士三〇名以上を殺害した。するとこの攻撃後の五月、トシリア軍名義のロシア空軍機は、トルコ部隊を空爆して、ドリブ侵攻作戦)を阻止し続けてきた。だが、今年二月、安全地帯を設置し、アサド政権による反乱軍への総攻撃(イー九年一〇月以降、トルコは、シリアの北部に介入して

対する批判勢力や抑止力が見当たらない。要失して暴走気味である。もはや国内には、政権の失政に強力な軍事攻撃を加えた。エルドアン政権は、対話戦略を強力な軍事支援するリビア東部の「リビア国民軍」(LNA)に

コ、ロシア、イラン、カタール、イラク」の緩やかな対立 でに、UAEは、イスラエル製対空システムをエジプト経 曲で「リビア国民軍」に提供することで、トルコの支援す るリビア政府軍に対抗していた。 簡単にいうなら、東地中海のガス田の権益をめぐる地域 が争も絡み合って、現在、「NATO諸国、キプロス、イ スラエル、エジプト、サウジアラビア、UAE」対「トル スラエル、エジプトの裏庭であるが、UAEが対テロ軍事 リビアはエジプトの裏庭であるが、UAEが対テロ軍事

めの監視協力活動の継続を再確認した。だが、これら内戦スラエル、エジプト、サウジアラビア、UAE」対「トルスラエル、エジプト、サウジアラビア、UAE」対「トルスラエル、エジプト、サウジアラビア、UAE」対「トルスラエル、エジプト、サウジアラビア、UAE」対「トルスラエル、エジプト、明在、「NATO諸国、キプロス、イ約争も絡み合って、現在、「NATO諸国、キプロス、イ約の監視協力活動の継続を再確認した。だが、これら内戦めの監視協力活動の継続を再確認した。だが、これら内戦の構図だが、これら内戦の構図が浮かび上がっている。

は、安定しにくい「協力」関係に立脚している。400対空システムをロシアに依存しているが、この二国てきたトルコの治安政策の柱と衝突する。トルコは、S-持っている。これは、クルドをテロリストとして敵視しクルド人を包摂したシリアの国民的和解の推進に意欲を

複雑な関係は、火薬庫を創り出しているように見える。 複雑な関係は、火薬庫を創り出しているように見える。 複雑な関係は、火薬庫を創り出しているように見える。 複雑な関係は、火薬庫を創り出している。米国は、引き できた米国の中東関与最小化政策の流れにあった。だが、 できた米国の中東関与最小化政策の流れにあった。だが、 できた米国の中東関与最小化政策の流れにあった。だが、 を一〇月一日から一年間、部分的に解除すると発表した。 中海で海軍演習を実施すると発表した。米国の民間石油会 せが、シリア北東部のクルド民主軍(SDF)と二五年間 の石油輸出契約を結んだと報じられている。米国は、引き の石油輸出契約を結んだと報じられている。 米国は、引き でり込まれるかのように、この地域への関与を強めている。 シリアと東地中海におけるトルコ、ロシア、米国、EUの シリアと東地中海におけるトルコ、ロシア、米国、EUの シリアと東地中海におけるトルコ、ロシア、米国、EUの シリアと東地中海におけるトルコ、ロシア、米国、とご五年間 の石油輸出契約を結んだと報じられているように見える。

## 湾岸情勢は米大統領選に左右される?

トランプ大統領は、二〇一八年五月、イラン核合意

の行方は不確かである。また、ロシアは、シリア北東部の

保理常任理事国はそれを否決したため、米国が対イラン多ラン制裁を復活させる手続きをとったが、他の四ヵ国の安否決されてしまった。翌日、トランプ政権は安保理で対イ保障理事会で対イラン武器禁輸措置の延長を提案したが、核合意の締結を目指すと発言し、一四日に米国は国連安全ンプ氏は、もしも大統領に再選されれば、イランと新しいCPOA)からの離脱を決定した。今年八月一○日、トラCPOA)からの離脱を決定した。今年八月一○日、トラ

国間軍事制裁を再開できる見通しは遠くなった。

し圧力をかける見込みがある。 し圧力をかける見込みがある。 し圧力をかける見込みがある。 し圧力をかける見込みがある。 し圧力をかける見込みがある。 し圧力をかける見込みがある。 し圧力をかける見込みがある。 し圧力をかける見込みがある。 し圧力をかける見込みがある。 し圧力をかける見込みがある。

う。

政権のイラン政策を迷走させるかもしれない。測されている。そのような「想定外」の事態は、バイデン硬派の新政権が誕生するリスクが高くなってしまったと観年八月に終えた後、イランでは、JCPOAに反対する強時間は少ない。イランのローハニ大統領が任期を二〇二一ただし、バイデン氏がJCPOA再開のために費やせる

スラエルとを仲介する役割は果たせないかもしれない。● 水で電は、パレスチナとの和平交渉に乗り出す見込みはなく、 で満れ、の心情に対して無神経である。このために、トラ が安定するまでの数年は判明しない。また、ネタニヤフ が安定するまでの数年は判明しない。また、ネタニヤフ が存にするまでの数年は判明しない。また、ネタニヤフ が存にするまでの数年は判明しない。また、ネタニヤフ が存にするまでの数年は判明しない。また、ネタニヤフ のをしてきたが、公式な国交正常 といっジアラビアは、過去数年、イスラエルと秘密裏に軽